

【概要版】

上毛町公共施設等総合管理計画



福岡県 上毛町
令和4年3月改定
(平成29年3月策定)

はじめに

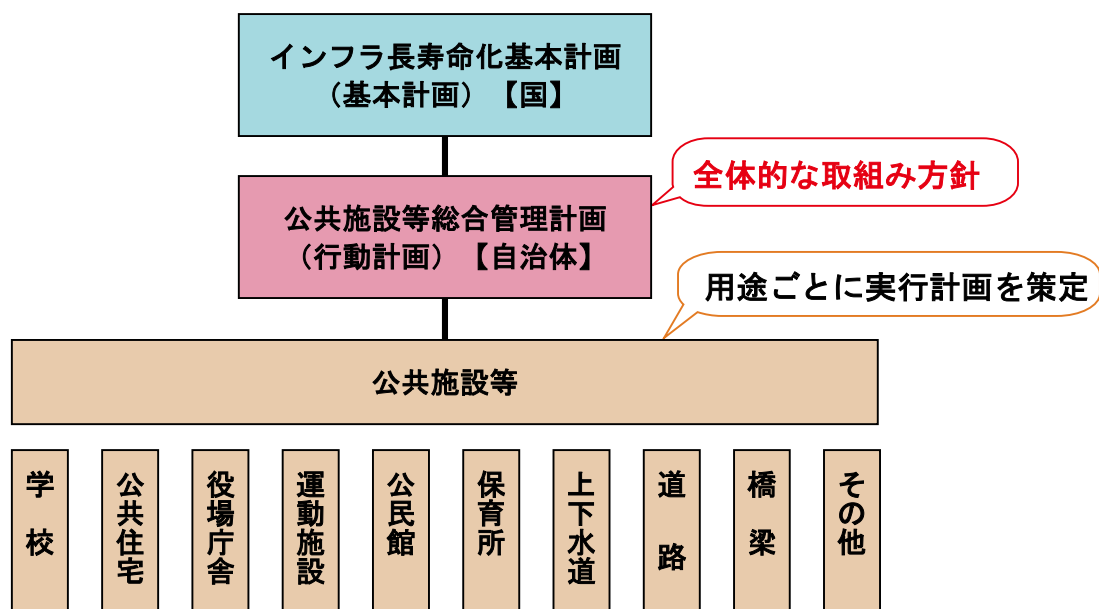
わが国では、高度成長期に整備してきた公共施設やインフラ資産の老朽化が大きな課題となっています。

上毛町では、公共施設等の適切な整備や更新、長寿命化等を計画的に行うため、平成 28 年度に「上毛町公共施設等総合管理計画」を策定しました。

その後、一定の期間が経過し、国のインフラ長寿命化基本計画の見直しや、令和 2 年度の「上毛町公共施設等個別施設計画」の策定を踏まえ、公共施設等総合管理計画の改訂を行うこととなりました。

計画の位置づけ

本計画では、公共施設（建築物）及びインフラ資産（道路、橋梁、上下水道など）の課題解決に向けて、公共施設等を戦略的に維持管理していくマネジメントの考え方を取り入れます。この公共施設等マネジメントの全体のうち、本計画を本町の保有資産全体の方向性及び取組方針を明らかにする計画と位置づけます。



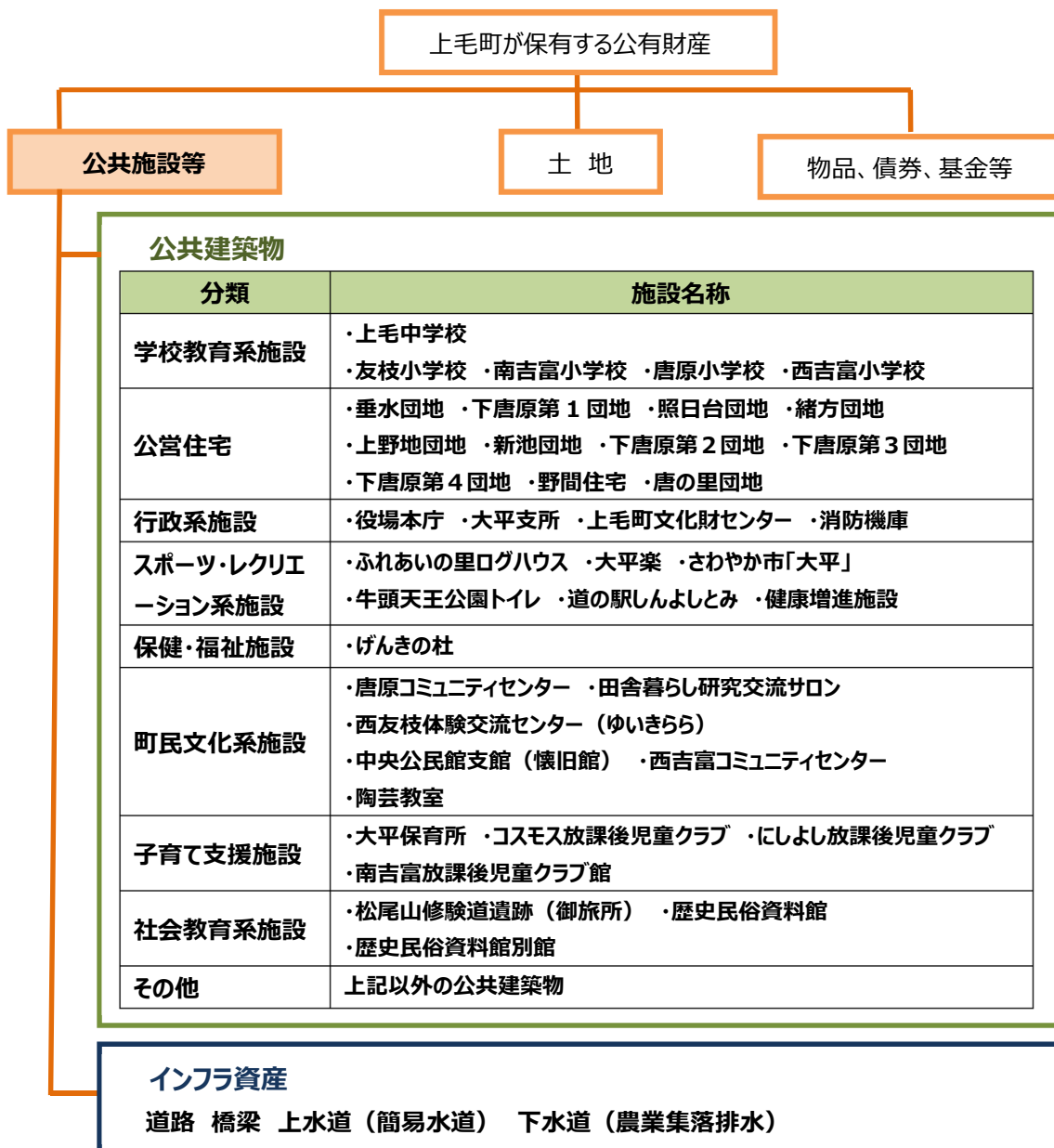
計画期間

公共施設等総合管理計画は、将来的な人口変動等を見込んで公共施設等の管理に関する方針を検討するものです。よって、本計画の計画期間は、「上毛町人口ビジョン」において、目標人口が設定されている令和 22 年度(2040 年度)までとします。

なお、本計画は、社会経済情勢の変化や上位計画である上毛町総合計画の見直し等を考慮し、適宜見直していくこととします。

計画の対象

計画の対象となるのは、上毛町が保有する公共建築物及びインフラ資産とします。



現状と将来の見通し

人口

人口推移と将来推計

令和 2 年の国勢調査による上毛町の人口は、7,251 人でした。

「日本の地域別将来人口推計」（以下、人口推計）によると、上毛町の人口は、令和 27 年（2045 年）には 4,898 人に減少すると予測されています。これは、令和 2 年(2020 年)の国勢調査による人口と比較すると、2,353 人(31.6%)が減少していることになります。

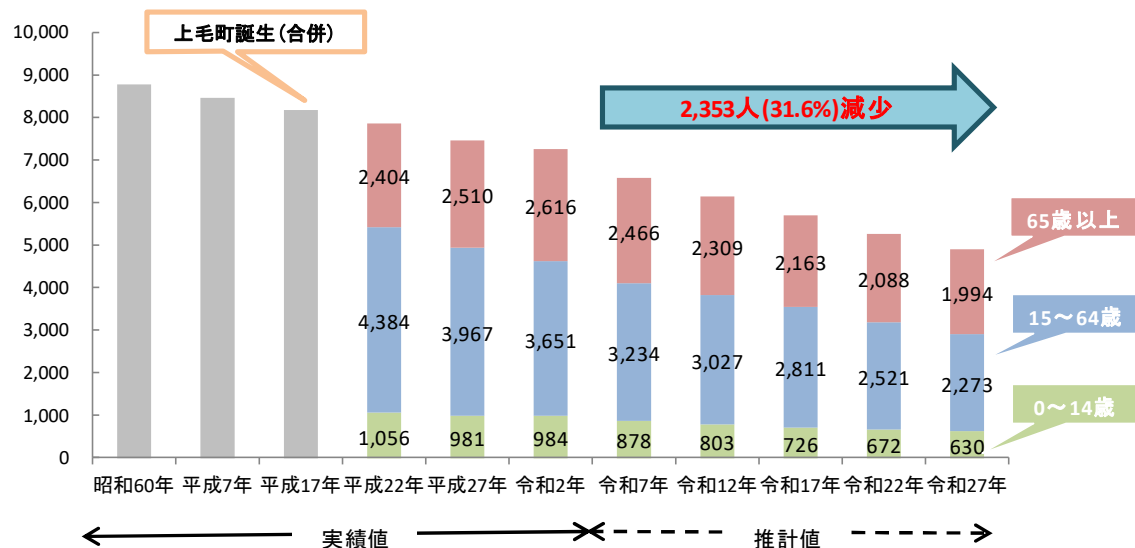
年齢 3 区分別人口をみると、生産年齢人口の割合が減少し、老年人口の割合が増加すると予想されています。

実績値						推計値				
1985年 昭和60年	1995年 平成7年	2005年 平成17年	2010年 平成22年	2015年 平成27年	2020年 令和2年	2025年 令和7年	2030年 令和12年	2035年 令和17年	2040年 令和22年	2045年 令和27年
8,773	8,443	8,172	7,844	7,458	7,251	6,578	6,139	5,700	5,282	4,898
15歳未満人口数(年少人口)			1,056	981	984	878	803	726	672	630
15～64歳人口数(生産年齢人口)			4,384	3,967	3,651	3,234	3,027	2,811	2,521	2,273
65歳以上人口数(老年人口)			2,404	2,510	2,616	2,466	2,309	2,163	2,088	1,994
総人口に占める15歳未満の割合			13.5%	13.1%	13.6%	13.3%	13.1%	12.7%	12.7%	12.9%
総人口に占める15～64歳の割合			55.9%	53.2%	50.3%	49.2%	49.3%	49.3%	47.7%	46.4%
総人口に占める65歳以上の割合			30.6%	33.7%	36.1%	37.5%	37.6%	38.0%	39.6%	40.7%

実績値：国勢調査（総数は年齢不詳を含む）

推計値：国立社会保障・人口問題研究所による人口推計（平成30年推計）

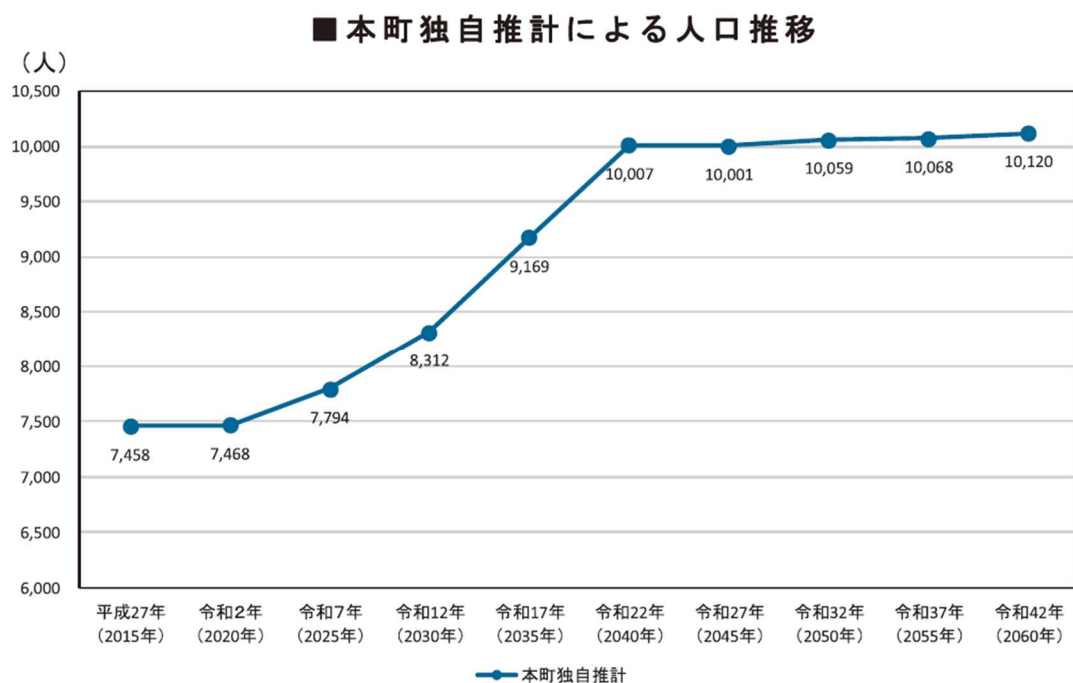
人口(人)



上毛町人口ビジョン

人口減少、少子高齢化が進行するなか、これらの影響を回避するため、「上毛町人口ビジョン」において、令和22年（2040年）の目標人口を1万人維持と定め、本町の目指すべき将来の方向のもと、人口の社会増を図るため、住民と行政の協働により、多様な定住促進施策及び町外流出対策を展開していくこととしています。

2040年 将来人口展望 10,000人



資料：上毛町人口ビジョン(令和2年3月改定)

公共建築物の保有量

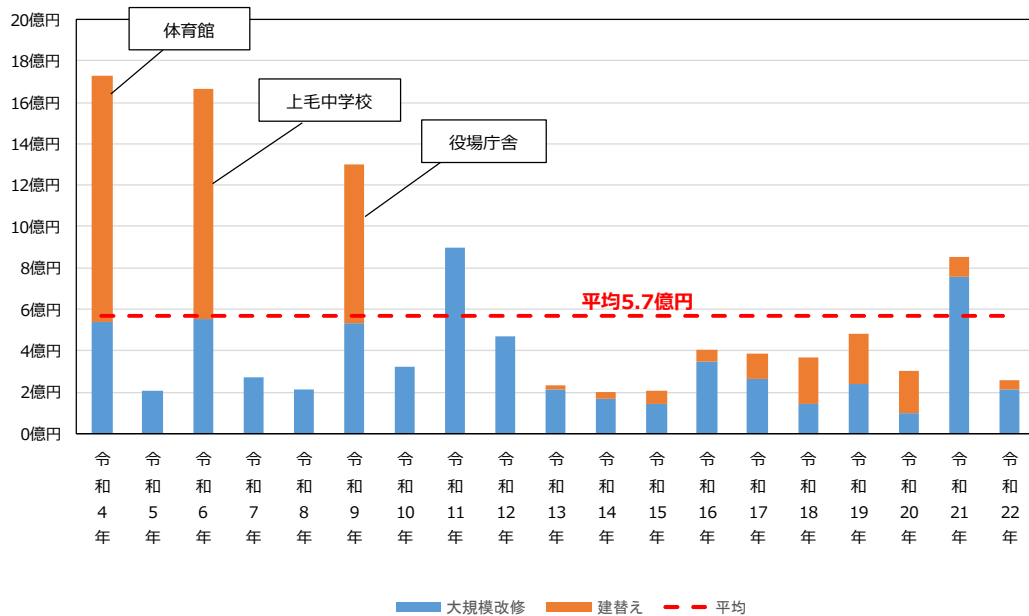
施設種別	割合
学校教育系施設	34.7%
公営住宅	20.0%
行政系施設	13.6%
スポーツ・レクリエーション系施設	10.9%
保健・福祉施設	7.6%
町民文化系施設	6.2%
子育て支援施設	3.5%
社会教育系施設	1.0%
その他	1.9%
下水道施設 (簡易水道)	0.1%
下水道施設 (農業集落排水)	0.5%

全施設合計
54,749m²
63施設

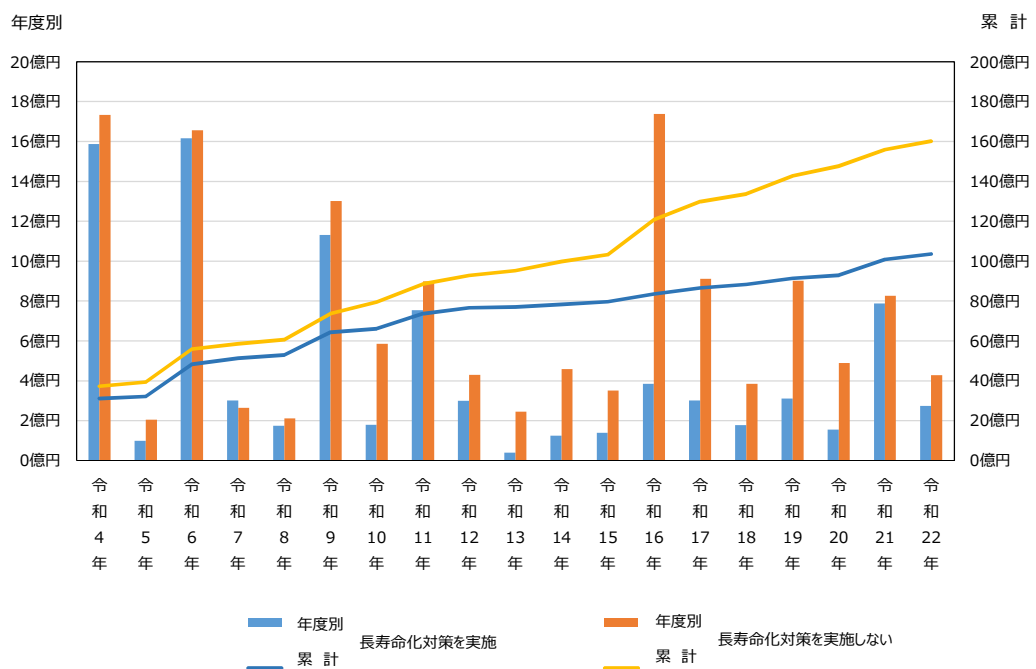
5

公共建築物に関わるコスト

公共施設(建築物)の将来更新費は、平均 5.7 億円/年と想定され、年度により大きく変動しています。



長寿命化対策を実施した場合、累計約 60 億円程度のコスト削減効果を見込むことができます。



公共施設等の課題

主にこれまでに、人口推移と見通し、財政状況及び公共施設等の現状について整理してきました。これらの結果より、上毛町が抱える課題は以下のとおりです。

課題 1：少子高齢化の影響

- 少子化の進行により中長期的には、学校教育系施設などの規模が需要に対して過大となることが予測されます。
- 高齢化の進行により、中長期的には介護・福祉ニーズの増加が予測されます。

課題 2：財政の確保

- 社会情勢等の変化により、今後、現在と同規模の歳入を見込むことが難しい状況です。
- 歳出については、高齢化の進行による扶助費等の増大が見込まれます。

課題 3：公共施設の老朽化・安全性の確保

- 公共施設の老朽化の進行によって、今後 10 年以内に築 30 年以上を経過した施設の大規模改修時期が集中することが予測されます。
- 耐震基準の改正前（旧耐震基準）に建設された建物について、安全性を確保することが課題となります。

課題 4：重複施設・地域遍在性の適正化

- 合併によって生じた施設の重複を見直し、規模や施設間の連携を適正にする必要があります。
- 施設の適正な配置によるサービスの平準化を図る必要があります。

公共施設等マネジメントの基本方針

公共施設の総合的かつ計画的な管理運営を実現するため、4つの基本方針を設定し、個別具体的な取組みを進めます。

基本方針 1：施設性能の向上・長寿命化

主要な取り組み項目

- 点検・診断による現状把握
- 耐震・大規模改修による機能維持
- 予防保全型維持管理の導入
- 施設の長寿命化

基本方針 2：保有量の適正化

主要な取り組み項目

- 整備の重点化
- 施設の最適化
- 危険施設の除去
- 柔軟なサービスの提供

基本方針 3：トータルコストの削減

主要な取り組み項目

- 更新費の軽減
- 維持管理経費の削減
- 財源の確保

基本方針 4：効率的な管理・活用

主要な取り組み項目

- 施設運営形態の適正化
- 多様な主体との連携

今後の取組体制

今後は、公共施設（建築物）、インフラの類型ごとに再編計画や長寿命化修繕計画、アセットマネジメント方針等を検討していきます。

本計画及び個別計画については、庁内の会議体等において進捗管理を行っていきます。本計画及び個別計画の立案（Plan）、実行計画の立案（Do）、庁内会議や議会等での検証（Check）、事業の実施（Action）という PDCA サイクルの考え方に基づき、今後の進捗状況や実施事項を適宜把握、公表していきます。

なお、計画期間内であっても、社会経済情勢や本町を取巻く環境の変化等が生じた場合には、必要に応じて本計画を見直していきます。

